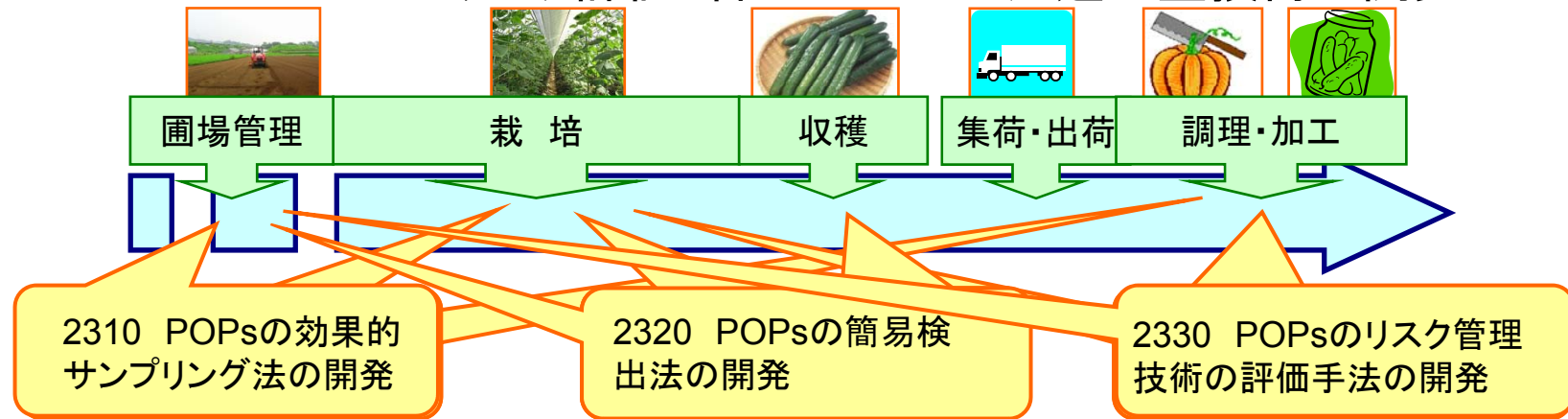


2300 POPsのリスク評価・管理のための共通基盤技術の開発



統計的手法の導入

●2310 POPsの汚染度判定技術の開発

- ・キュウリ中デルドリン濃度を必要精度で予測するためのサンプリング法

※2110と連携

- ・汚染低減技術の効果の評価

※2210, 2220と連携



$$Y = f(\theta|x) + \varepsilon$$
$$\theta \sim p(\alpha), \quad \varepsilon \sim p(\beta)$$

ELISA法の開発

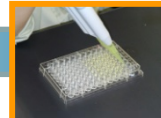
●2320 ELISAを利用したPOPsの簡易検出法の開発

- ・前処理法の開発(既製品ELISA利用)

※2100, 2200と連携(前半から)

- ・POPsの新規抗体の開発

※2100, 2200と連携(後半から)



経済的視点の導入

●2330 POPsのリスク管理技術の経済的評価技術の開発

- ・POPs問題発生 of 行動科学的傾向の解明

※2100, 2200と連携(前半)

- ・費用有効度の概念モデルの開発

※2100, 2200と連携

- ・技術導入効果の明確化

※2100, 2200と連携(後半)

到達目標:

- 統計手法により、POPsの暴露評価やリスク管理の効果的評価
- ELISA法を利用して、土壌中のPOPsを簡易・迅速に分析
- POPsのリスク管理技術の経済的評価手法のマニュアル化